

父の生誕地

父が生まれ弟が世間を憚りながら暮らした与板へと、何度も足を運び歌を詠んだ。豪商三輪家(大坂屋)、山田家(和泉屋)との親交も深く所縁の史跡が残る。



65 都野神社

与板の総鎮守として古くから信仰される神社。良寛の詩碑がある。



67 新木家跡

与板の割元庄屋であり、良寛の父・以南の生家跡。以南の句碑もある。



64 良寛詩歌碑公園 「いしぶみの里」

良寛にまつわる詩歌碑が十数基も点在する旧黒川沿いの河川緑地公園。良寛と与板の人と土地の深い交流が垣間見える。



60 弟由之隠栖遺跡

父の後を継いで名主になった弟・由之は所払いになり晩年は与板に隠栖した。一時この場所(扇屋中川家跡)に伏屋を建てて住んだ。



69 新黒川水門良寛詩碑

新黒川水門に良寛詩碑がある。眼前には信濃川と弥彦山が望める。



71 塩之入峠と旧道

島崎と与板の間にある峠の旧道。島崎の良寛と与板に住む弟の由之は急な坂のこの峠を歩いて行き来した。良寛歌碑がある。



61 明元寺

浄土真宗の寺。墓地に「一蓮塔」が刻まれている墓石がある。扇屋中川家の菩提寺でもある。



62 蓮正寺

浄土真宗の寺。父・以南の妹の嫁ぎ先であり、良寛もしばしば訪れた。境内に、「自然」、「法爾」が刻まれている墓石がそれぞれある。

70 大坂塔婆

石で作った道しるべが建っている。良寛も与板から出雲崎へ向かうときに通ったと言われている。

66 与板十五夜まつり

毎年9月の十五夜の時期に行われる都野神社の秋季大祭。江戸時代から続く登り屋台が奉納される。良寛も楽しんだ祭り。

65 大坂屋河渡・和泉屋河渡

越後屈指の大豪商大坂屋三輪家と豪商和泉屋山田家が船運業で利用した河渡跡。

66 和泉屋山田家跡

和泉屋山田家の9代太郎兵衛重輪(号は杜草)は良寛と親交があった。蓮正寺に山田杜草の墓がある。



63 三輪家別荘 楽山苑

江戸時代、信濃川の河川交易で財をなした大坂屋・三輪家の別荘。三輪左一は良寛の胸中を最もよく理解した友人である。良寛の詩歌碑がある。

時 9:00~21:00
休 年末年始(12月28日~1月3日)
料 無料 施設(楽山亭、積翠庵)を利用する場合は有料・要予約
電 0258-72-3201
(長岡市役所与板支所産業建設課)
FAX 0258-72-3341 駐あり

良寛の父・以南は城下町与板の割元庄屋新木家の出身で縁者も多く、そのため良寛も幼い頃からこの地に度々通った。豪商として知られる三輪家の左一とは歌や学問を通じて親交を結び、その思い出を伝える歌碑も「楽山苑」に残る。また、良寛の生家・山本家が没落し名主であった弟・由之が全てを喪い松下庵に隠栖するようになると、良寛が身を寄せていた和島の木村家から険しい「塩之入峠」を越えて度々会いに訪れたという。貞心尼とともに晩年の心の支えともいえる弟との対面を妨げる峠のちに改修された時、良寛は長歌にも「夢のようだ」と素直なその気持ちを詠み喜んだ。



58 徳昌寺

曹洞宗の寺。良寛の父の生家新木家や三輪家の菩提寺。住職の大機和尚は良寛とも親しく、良寛の葬儀の際、導師を務めた。維馨尼や三輪左一の墓、良寛詩碑がある。



59 維馨尼桜

徳昌寺の維馨尼の墓碑の近くに維馨尼桜と呼ばれる美しい枝垂れ桜がある。



68 まちの駅 よいた

与板の情報発信交流施設。観光案内をしてくれるガイドの受付、「越後与板打刃物」などの与板地域の各種特産物の展示を行っている。

電 FAX 0258-72-4161 時 10:00~16:00
休 毎週月曜日(祝日は営業) / 冬期間休業



68 兼続お船ミュージアム(与板歴史民俗資料館)

直江兼続とその妻お船のふるさと与板ならではの資料が展示されている歴史民俗資料館。良寛の遺墨も展示されている。

時 9:00~17:00 休 年末年始(12月28日~1月4日)
料 大人300円、小中学生150円 電 0258-72-2021 駐あり